

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本理念	1 子どもの最善の利益を考えるとともに、子ども自らの「育つ力」を大切にします。 2 父親・母親を中心とした、家庭の「育てる力」を大切にします。 3 子育ての負担を家庭だけに負わせることなく、地域や職場が子どもと子育て家庭を応援します。 4 行政は、地域や職場と連携しながら、子どもと子育て家庭を応援します。
計画目標	<p style="text-align: center;">子育て、子育てをみんなが応援するまち ねりま</p> 練馬区では、父親・母親その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本認識の下に、地域社会全体で家庭の「育てる力」と子ども自らの「育つ力」を応援することによって、安心して子育てができるまち、そして、子どもが未来に希望を持ち、次代を担う力を身につけることのできるまちの実現をめざします。
基本目標	I 子どもたちの「育つ力」と子育て家庭の「育てる力」を応援します II 子どもと親の健康づくりを応援します III 子どもの健やかな成長を助けるため教育環境を整備します IV 子どもと子育て家庭を応援するまちづくりを進めます V 支援が必要な子どもと子育て家庭を応援します VI 計画の着実な推進を図ります

※網掛け項目は、目標達成事業(17事業)です。

※ * 印は練馬区長期計画の見直し等に合わせた変更した目標値です。

基本目標	I 子どもたちの「育つ力」と子育て家庭の「育てる力」を応援します					
基本施策	1 子育て支援についての情報提供、相談機能の充実					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-1-2 子ども家庭支援センターの整備	施設数	4か所	5か所	先駆型センター 1か所 従来型センター 4か所	◆ I-1-2「子ども家庭支援センターの整備」 練馬駅北分室を運営する事業者を公募、選定し、開設準備を行った。	平成26年度開設予定の練馬駅北分室では、子どもと家庭の総合相談、乳幼児一時預かりを実施する。 すくすくナビゲーター事業は、子育て支援情報冊子を発行した。
I-1-4 (仮称)すくすくナビゲーター事業の実施	-	-	子育て支援情報冊子の発行	*子育て支援情報冊子の発行	◆ I-1-4「(仮称)すくすくナビゲーター事業の実施」 子育て支援情報冊子を発行した。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本施策		2 子育て家庭の交流の促進				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-2-1 子育てのひろば	施設数	びよびよ 5か所 にこにこ 63か所 放課後児童等の広場 (民間学童保育)事 業 3か所 民設子育てのひろば への支援 8か所	びよびよ 8か所 にこにこ 72か所 放課後児童等の広場 (民間学童保育)事 業 2か所 民設子育てのひろば への支援 11か所	11か所 63か所 3か所 13か所	◆ I-2-1「子育てのひろば」 立野地区区民館学童クラブの移転後の跡施設を びよびよとするための準備を行った。 にこにこは学童クラブの運営の委託化に伴い、 2か所において実施日数を拡大した。また、一部 施設では、より利用が見込まれる日に実施曜日 を変更した。 民設子育てのひろばを運営する団体を公募し て、1団体を選定し、石神井台に11か所目の民 設子育てのひろばを開設した。	びよびよは、今後も地区区民館内等の学童 クラブが移転した跡施設を利用し、子育ての ひろばが設置されていない地域に設置してい く。 民設子育てのひろばについては、今後も公 募により団体を選定し、設置していく。 講座については、今後も継続して実施す る。
I-2-4 子育て支援啓発講座の 実施	ノーバディーズパー フェクト・子育て支援 啓発講座の実施	ノーバディーズパー フェクト 定員12名程度×6回 講座×3会場 子育て支援啓発講座 の実施	ノーバディーズパー フェクト 定員12名程度×6回 講座×5会場 講座の実施	定員12名程度×6回 講座×4会場 講座の実施	◆ I-2-4「子育て支援啓発講座の実施」 ノーバディーズパーフェクト講座の実施 (定員12名×6回×5会場)	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本施策		3 子育て家庭を地域で支える仕組みづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-3-2 児童館を地域の核とする子育て支援ネットワークの構築	ネットワーク構築児童館数	5館	17館	17館	◆I-3-2「児童館を地域の核とする子育て支援ネットワークの構築」 平成25年度に4館で、地域の関係機関との子育て支援ネットワークを構築し、目標を達成した。	地域懇談会の開催や地域の情報を掲示することによって、児童館(全17館)が子育て支援ネットワークを構築することができたため、引き続き取り組みのさらなる充実を図っていく。 ファミリーサポートセンター事業は、今後も区民相互援助の精神で、身近な地域での育児援助活動を行うことを支援する。
I-3-3 ファミリーサポートセンター(育児支えあい)事業	援助依頼受付体制の充実 援助会員の増員・育成 保育サービス講習会の充実	3か所(区全体) 保育サービス講習会 年間4回	1か所のファミリーサポートセンターに統合。 保育サービス講習会 年間4回	援助依頼受付体制の充実 援助会員の増員・育成 保育サービス講習会の充実	◆I-3-3「ファミリーサポートセンター(育児支えあい)事業」 保育サービス講習会の充実を図り、援助会員の増員、育成を行っている。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本施策		4 保育サービスの充実			平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値		
I-4-1 保育所待機児童の解消	定員数 認可保育所 認証保育所 家庭福祉員 駅型グループ保育室 保育室 幼稚園預かり保育 認定こども園	9,644人 83園 8,253人 27か所 798人 福祉員41人、120人 8室 66人 8室 152人 6園 155人 2園 100人	11,706人 101園 9,897人 36か所 1,117人 福祉員54人、159人 8室 60人 4室 93人 4園 100人 5園 250人 【新規】グループ型 家庭的保育事業 2か所 30人	*12,170人 *103園 10,171人 *41か所 1,377人 *福祉員57人、167人 8室 75人 *4園 100人 *6園 280人	<p>◆I-4-1「保育所待機児童の解消」 私立認可保育所3園を開設した。 (25年4月にじいろ保育園新桜台【定員85人】、ベネッセチャイルドケアセンター石神井公園【定員89人】、そあ季の花【定員120人】) 認証保育所2か所を開設した。 (25年4月ピノキオ幼児舎平和台園【定員25人】、ねりまさくらさくほいくえん【定員38人】) 家庭福祉員を新規に認定した。 (25年4月新規開始4人) なんこう幼稚園が、幼稚園預かり保育から認定こども園へ移行した。 グループ型家庭的保育事業を2か所で新規に開始した。 (25年7月ポピンス保育ママルーム桜台【定員15人】、26年3月にじいろ保育ルーム桜台【定員15人】) ※保育所の定員数は、当該年度の4月1日付でカウントしており、平成26年4月1日開設分を含めると、12,418人となり、平成26年度末目標値を達成している。</p>	<p>乳幼児一時預かりは、新たに練馬駅北分室において実施する予定である。現在ある南分室の機能と合わせて、役割分担を検討する。 保育所待機児童の解消に向け、平成25年度は、私立保育所3園、認証保育所2か所の開設等により定員枠の拡大を図り、計画の推進に努めた。しかし、保育所入所申込者数は増加を続けており、今後も引き続き計画を推進していく必要がある。 短期特例保育は私立保育所3園、認証保育所2か所において事業を開始した。緊急時における短期特例保育事業の需要が高いことから、今後も、新設の私立保育所、認証保育所等に実施を働きかけていく。</p>
I-4-2 乳幼児一時預かり事業	施設数 定員数	4か所 36人 放課後児童等の広場 (民間学童保育)事業 2か所	5か所 48人 放課後児童等の広場 (民間学童保育)事業 2か所	5か所 46人 2か所	<p>◆I-4-2「乳幼児一時預かり事業」 5か所、48人定員で実施</p>	
I-4-5 短期特例保育	保育員数 定員数 <入所定員の空き利用> 施設数	9人 27人 保育所65園 認証保育所13か所 保育室8室	7人 21人 保育所81園 認証保育所24か所 保育室4室	14人 42人 81園 30か所	<p>◆I-4-5「短期特例保育」 私立保育所3園において事業を開始した。 (25年4月にじいろ保育園新桜台、ベネッセチャイルドケアセンター石神井公園、そあ季の花) 認証保育所2か所において事業を開始した。 (25年4月ピノキオ幼児舎平和台園、ねりまさくらさくほいくえん)</p>	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本施策						
4 保育サービスの充実						
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-4-6 一時預かり	施設数 定員数	区・私立保育所 6園 45人	区・私立保育所 14園 99人	13園 84人	◆I-4-6「一時預かり」 私立保育所5園で事業を開始した。 (25年5月茶々おおいすみ、にじいろ保育園 上石神井、25年8月ビジョンランド上石神井、 25年9月ベネッセチャイルドケアセンター石神 井公園、25年10月そあ季の花)	一時預かり事業は、平成25年度末で目標値 を達成した。 延長保育事業は、目標値の達成に向け、順 調に進んでいる。保護者の多様な就労形態や 保育サービスへの要望に対応するため、さら なる保育サービスの充実を図る。
I-4-7 病児・病後児保育	施設数 定員数	病後児保育 4か所 22人	病後児保育 1か所 4人 病児・病後児保育 3か所 22人	*病児・病後児保育 6か所 36人	◆I-4-7「病児・病後児保育」 道灌山保育園の病後児保育事業を廃止した。 練馬駅北口区有地活用事業ココネリ4階「こど もほっとステーション」内に病児・病後児保育室 を併設した認証保育所および小児科診療所を誘致 し、病児・病後児保育事業の充実を図った(施設 は平成26年8月開設予定)。	
I-4-8 延長保育	施設数	区・私立保育所 計40園 朝30分 6園 夕1時間 31園 夕1時間30分 1園 夕2時間 7園 夕2時間30分 1園	区・私立保育所 64園 朝30分 27園 夕1時間 28園 夕1時間30分 3園 夕2時間 32園 夕2時間30分 1園	*計66園 朝24園 夕66園	◆I-4-8「延長保育」 区立保育所1園で朝30分、夕2時間の延長保 育を開始した。 区立保育所1園で実施時間を夕1時間から朝 30分、夕2時間へ延長した。 私立保育所1園で夕1時間、1園で朝30分、 3園で夕2時間の延長保育を開始した。	
I-4-9 認定こども園	施設数 定員数	2園 100人	5園 250人	*6園 280人	◆I-4-9「認定こども園」 幼稚園1園で事業を開始した。 (25年4月なんこう幼稚園)	
基本施策						
5 児童館、地区区民館、厚生文化会館、学童クラブ事業等の充実						
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-5-6 中高生の居場所づくり	実施児童館数	2館	8館	10館	◆I-5-6「中高生の居場所づくり」 平成25年度当初から、光が丘児童館、上石神 井児童館で新たに開始し、既実施6館と合わせて 計8館での事業実施となった。	今後も長期計画に基づき、年2館ずつ実施 館を増やしていく。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本施策		6 その他の居場所、遊び場、多様な体験機会の充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-6-9 学校応援団推進事業	施設数	小学校57校	小学校65校	65校	◆ I-6-9「学校応援団推進事業」 平成22年度に全小学校に設置完了した学校応援団が、すべて「ひろば事業」を実施した。	
I-6-14 練馬区における「放課後子どもプラン」	学校応援団の設置 学童クラブ事業とひろば事業の連携 校内学童クラブ設置	57校 学童クラブ事業とひろば事業の連携の本格実施 33校 学童クラブ設置数(近隣設置校含む) 42校	65校 学童クラブ事業とひろば事業の連携の本格実施 64校 学童クラブ設置数(近隣設置校含む) 48校	65校 学童クラブ事業とひろば事業の全小学校での連携 学童クラブの校内移設・整備	◆ I-6-14「練馬区における「放課後子どもプラン」」 立野小学学童クラブ室とひろば室(合築)の建設工事が平成26年3月に終了し、4月に開設した。	学校応援団の全校設置およびひろば事業の全校実施により、放課後児童の居場所の確保および異世代交流が図れた。 また、学童クラブと学校応援団ひろば事業の連携実施により、学童・ひろば関係なく子どもたちが一緒に遊んだり、それぞれが主催する行事に参加することが可能となり、子どもたちの遊びの幅や活動場所が拡大した。 今後もひろば事業の実施日数拡大や連携の実施を通して、子どもたちの居場所づくりを推進する。 外遊びの場の提供は、今後も継続できるように、団体と協働して取り組んでいく。
I-6-15 ねりま遊遊スクール(子どもの居場所づくり)事業	講座数	小中学生および親子対象講座 435講座 障害のある子どものための連続講座 6講座 中学生対象連続講座 —	小中学生および親子対象講座 429講座 障害のある子どものための連続講座 10講座 中学生対象連続講座 情報教育推進事業で実施した。	小中学生および親子対象講座 390講座 障害のある子どものための連続講座 5講座 中学生対象連続講座 5講座	◆ I-6-15「ねりま遊遊スクール(子どもの居場所づくり)事業」 区内公共施設等で439回の講座が実施され、13,810人の参加があった。そのうち、障害児を対象とした講座には147人が参加した。	
I-6-16 外遊びの場の提供	事業実施	外遊びの場提供事業 案検討 活動団体調査	補助実施	外遊びの場提供事業の実施	◆ I-6-16「外遊びの場の提供」 平成22年度に選定した団体に補助を実施し、区内9か所で事業を実施した。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本施策	7 子ども自らが考え、参画する機会の拡充					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-7-4 ねりま遊遊スクール (子どもによる講座づくり)事業	講座数	13講座	22講座	48講座	◆I-7-4「ねりま遊遊スクール(子どもによる講座づくり)事業」 平成25年7月～平成26年3月の間に区立中学校等で22回の講座が実施され、562人の参加があった(24年度比で参加者86人増)。	今後も子どもたちが主体的に考え、参画できる場の提供を進める。
基本施策	8 経済的な支援					
【計画事業なし】						
基本施策	9 誰もが働きやすい就業環境の促進					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-9-9 男女共同参画計画に基づく施策の推進	施策の推進	次期練馬区男女共同参画計画の策定に向けての提言 女性の労働実態調査の実施	ワーク・ライフ・バランス等の普及啓発のため、企業・事業所の雇用主および人事労務担当者等を対象にセミナーを開催するとともに、区内事業所に出向き「出前ミニ講座」を開催。また、女性のために起業講座を開催。	施策の推進	◆I-9-9「男女共同参画計画に基づく施策の推進」 ワーク・ライフ・バランス等の普及啓発のための講座等を3回実施し、延べ90人の参加があった。 ・企業・事業所向けワーク・ライフ・バランスセミナー「～マタハラをご存知ですか?～妊娠から育児期のハラスメント対策」 日時：平成26年2月6日(木) 参加：33名 ・出前ミニ講座「男女共同参画について」 日時：平成25年7月14日(日) 参加：15名 ・女性のためのフチ起業講座「みつける・みつかる・私だからできること 得意なこと好きなことを仕事に！」 日時：平成25年9月28日(土) 参加：42名	第3次練馬区男女共同参画計画に沿って、ワーク・ライフ・バランスを推進する。今後も、企業・事業所向けセミナーや区民向け講座を実施する。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本目標		II 子どもと親の健康づくりを応援します				
基本施策		1 健康診査等の充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
II-1-3 幼児歯科健康診査	1歳6か月児歯科健康診査受診率	84.8%	88.5%	90%	◆II-1-3「幼児歯科健康診査」 ・実施場所：保健相談所 ・1歳6か月児歯科健康診査 対象者数：6,019人 受診者数：5,326人 ・2歳児歯科健康診査 対象者数：5,979人 受診者数：4,741人 ・2歳6か月児歯科健康診査 対象者数：6,197人 受診者数：2,155人 ・3歳児歯科健康診査 対象者数：6,137人 受診者数：5,566人 むし歯のない者：4,861人	歯科健診においては、受診率の維持・向上のために未受診者に受診勧奨等を行っている。 その結果、各歯科健診とも計画に沿って順調に進んでおり、2歳6か月児、3歳児の受診率については目標値を達成した。他の歯科健診も引き続き目標値の達成に向けて取り組んでいく。 さらに、生活習慣の改善とフッ化物配合歯磨剤の使用について、リーフレットを用いた啓発をしたことで、3歳児のむし歯のない子の割合は年々増加を続け、早い段階で目標値を達成することができた。
	2歳児歯科健康診査受診率	80%	79.3%	80%		
	2歳6か月児歯科健康診査受診率	25.9%	34.8%	30%		
	3歳児歯科健康診査受診率	89.5%	90.7%	90%以上		
	3歳児のむし歯のない子の割合	82%	87.3%	85%		
基本施策		2 健康相談の充実と育児不安の解消				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
II-2-4 妊産婦訪問指導、産後相談	産婦訪問指導実施率	86.9%	90.0%	90%以上	◆II-2-4「妊産婦訪問指導、産後相談」 妊娠届および妊婦アンケートから支援を開始した妊婦について、出産後も継続して対応していく仕組みの整理をおこなった。	妊娠期および出産後に健康問題や育児不安を抱える家族を早期に把握し、支援が開始できるように仕組みづくりを行う。早い段階から支援を行うことにより、子育て中の健康問題の悪化や児童虐待への移行を防ぐ。
II-2-5 こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)	新生児等訪問実施率	(低体重児) 49.0% (新生児) 86.5%	92.4%	90%以上	◆II-2-5「こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)」 妊娠中から支援を行っている妊婦について、出産後の乳児についての支援もできるように情報の一元化を図っている。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本施策	3 予防接種の推進					
	【計画事業なし】					
基本施策	4 小児(救急)医療・周産期医療の充実					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅱ-4-6 病床確保事業	新病院の整備 既存病院の増築・増床	練馬区病床確保・医療機能拡充検討委員会において、新病院の整備および既存病院の増築・増床についての具体的方策と区内の小児医療・周産期医療等の機能の拡充についての、具体策をまとめる。	順天堂大学医学部附属練馬病院の増床および医療機能の拡充を図るため、関係者との協議を進め、事業計画を公表した。 平成26年練馬区議会第一回定例会において、病院新施設の整備場所となる現区有地と、その代替地となる現民有地の土地交換について議決がなされた。 また、周産期セミオープン事業を引き続き実施した。	*新病院(500床程度)の整備に向けた関係機関協議 *既存病院増床による医療機能の充実 *練馬区地域医療計画に基づく小児医療・周産期医療の充実	◆Ⅱ-4-6「病床確保事業」 順天堂大学医学部附属練馬病院は、増床および周産期医療をはじめとした医療機能の拡充を図る予定である。平成25年度は病院新施設を建設するための用地の確保に向けた協議を進め、事業計画を公表した。 周産期医療の充実を図るため、公益社団法人地域医療振興協会練馬光が丘病院に、「周産期セミオープンシステム事業」を委託し実施した。 ※周産期セミオープンシステム 出産を取り扱う病院と地域の診療所が連携し、妊娠32週頃までの妊婦健診を診療所で受診し、以降は病院で受診する。 分娩時は病院に入院し、病院の医師が分娩を扱う。	順天堂大学医学部附属練馬病院の増床および医療機能の拡充の中で、周産期医療等の充実を図っていく。 分娩できる医療機関の増加が難しい状況の中、周産期セミオープンシステムを委託することによって、医療機能に応じた役割分担を図っていく。
基本施策	5 食を通じた子どもの健全育成					
	【計画事業なし】					
基本施策	6 思春期における保健対策の充実					
	【計画事業なし】					

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本目標		Ⅲ 子どもの健やかな成長を助けるため教育環境を整備します				
基本施策		1 生きる力を育成する学校教育				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅲ-1-2 少人数指導方法の充実	実施学校数	(少人数指導) 小学校56校 中学校20校 (チームティーチング) 小学校7校 中学校12校	(少人数指導) 小学校61校 中学校24校 (チームティーチング) 小学校5校 中学校11校	65校 34校 7校 11校	◆Ⅲ-1-2「少人数指導方法の充実」 申請があった学校すべてに学力向上支援講師を1人は配置できるようにした。	各校とも組織的な取り組みを展開することにより、児童・生徒の学習状況を把握した指導を実践した。児童・生徒の学習状況に応じたグループ編成や情報交換に基づいたきめ細かい指導により、分かる授業を展開していく。 (仮称)大泉教育相談室の整備に向けて、課題の抽出を行って、調査・研究を深めた。 小中一貫・連携教育の推進については、10組22校の研究グループを小中一貫教育実践校に移行させるとともに、新たに6組16校を研究グループに指定した。また、知的障害学級における小中一貫教育推進方策を策定した。 学校教育支援センターの整備事業については、平成26年度の開設に向けて整備工事が完了した。
Ⅲ-1-10 教育相談	か所数	3か所	調査・研究	4か所	◆Ⅲ-1-10「教育相談」 課題の抽出を行って、調査・研究を深めた。	
Ⅲ-1-15 小中一貫・連携教育の推進	小中一貫・連携教育の推進	小中一貫教育校実施計画(中間報告)の作成	小中一貫教育校開校 小中一貫教育研究グループ・実践校での取り組み推進(小学校24校・中学校17校) 「練馬区小中一貫教育推進方策」「知的障害学級における小中一貫教育推進方策」の作成 2校目の小中一貫教	小中一貫教育校開校 小中一貫・連携教育の推進 小中一貫教育校(2校目)の検討	◆Ⅲ-1-15「小中一貫・連携教育の推進」 25・26年度小中一貫教育研究グループとして6組16校の小・中学校を指定した。 知的障害学級における小中一貫教育推進方策を策定した。	
Ⅲ-1-16 特別支援学級の設置	実施校数	知的障害学級 小学校 10校 中学校 8校 情緒障害等通級指導学級 小学校 7校 中学校 2校	知的障害学級 小学校 15校 中学校 8校 情緒障害等通級指導学級 小学校 8校 中学校 4校	*15校 8校 8校 4校	◆Ⅲ-1-16「特別支援学級の設置」 情緒障害等通級指導学級 光が丘第四中学校	
Ⅲ-1-17 学校教育支援センターの整備 ※(仮称)を外しました。	整備・運営	整備方針の策定	整備完了	整備・運営	◆Ⅲ-1-17「学校教育支援センターの整備」 平成26年度の開設に向けて、整備工事を行った。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本施策						
1 生きる力を育成する学校教育						
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅲ-1-18 校舎等の耐震化の推進	耐震化率	81.80%	97.80%	*「練馬区長期計画」に基づく耐震化の推進	◆Ⅲ-1-18「校舎等の耐震化の促進」 補強工事 小学校1校 中学校1校	校舎等の耐震化率は、今後改築により耐震化を図る必要がある学校を除き、平成26年度中に100%となる。 緑化工事については、順次実施校を増やしていく。 区立学校・区立幼稚園の適正配置では、区立幼稚園2園を25年度末に廃園するとともに、過小規模状態が継続している2小学校について、(仮称)教育環境を考える会準備会を開催した。
Ⅲ-1-19 みどりと環境の学校づくりの推進	緑化工事実施校	校庭芝生化 28校 屋上緑化 9校 みどりのカーテン等 40校	校庭芝生化 35校 屋上緑化 12校 みどりのカーテン等 48校	*校庭の芝生化 42校 *屋上緑化 10校 *みどりのカーテン等 54校	◆Ⅲ-1-19「みどりと環境の学校づくりの推進」 ・校庭芝生化 田柄小学校、高松小学校、大泉学園緑小学校 ・屋上緑化 谷原小学校体育館 ・みどりのカーテン等 大泉南小学校、大泉北小学校、大泉学園小学校、谷原小学校体育館	
Ⅲ-1-20 区立学校・区立幼稚園の適正配置	統合新校の開校 「第二次実施計画」の策定 「第二次実施計画」に基づく適正配置の推進	4統合準備会の運営	統合新校開校 4校 区立幼稚園2園廃園(平成25年度末) (仮称)教育環境を考える会準備会(2校)を開催	統合新校の開校 4校 「第二次実施計画」の策定 「第二次実施計画」に基づく適正配置の推進	◆Ⅲ-1-20「区立学校・区立幼稚園の適正配置」 区立幼稚園の適正配置では、25年度末に区立幼稚園2園を廃園した。 区立学校の適正配置では、過小規模状態が継続している2小学校について、(仮称)教育環境を考える会準備会を開催した。	
基本施策						
2 家庭教育への支援の充実						
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅲ-2-2 子育て学習講座	講座数	子育て学習講座 83講座 親育ち講座 1講座	子育て学習講座 47講座 親育ち講座 21講座	75講座 5講座	◆Ⅲ-2-2「子育て学習講座」 区内公共施設等で68回の講座が実施され、1,897人の参加があった。そのうち、親育ち講座(ねりマイクメン講座)には、493人の参加があった。	平成22年度より、父親や父親と子どもを対象とした「ねりマイクメン講座」を開設し、父親の子育て参加を図っている。さらに家庭教育への支援を強化し、今後も、効果的な事業とするため、見直しをしながら進めていく。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本施策	3 地域の教育力の向上					
	【計画事業なし】					
基本施策	4 幼児教育の充実					
	【計画事業なし】					
基本目標	IV 子どもと子育て家庭を応援するまちづくりを進めます					
基本施策	1 居住環境の整備と子育てバリアフリーのまちづくり					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
IV-1-4 鉄道駅および駅周辺の ユニバーサルデザインの 促進	駅数	18駅	21駅 さらなるバリアフ リー施設の充実に向 けた調査研究	21駅 さらなるバリアフ リー施設の充実	◆IV-1-4「鉄道駅および駅周辺のユニバーサル デザインの促進」 バリアフリー施策の充実に向けて調査研究を 行った。	鉄道駅および駅周辺のユニバーサルデザイ ンの促進事業については、平成23年度に区内 21駅すべてでバリアフリー化されたルートが 1ルート以上確保された。 今後もさらなるバリアフリー施策の充実 に向けて、引き続き調査研究を行っていく。 区民から要望の高いさらなるバリアフリー 施策の充実に向けて調査研究を行っていく。
IV-1-5 歩道のバリアフリー化	か所数	歩行者横断部改良工 事箇所184か所 電線類地中化事業 5か所	歩行者横断部改良工 事箇所261か所 電線類地中化事業 6か所	*286か所 12か所	◆IV-1-6「歩道のバリアフリー化」 歩行者横断部改良工事20か所整備	
IV-1-6 公園へのだれでもトイレの設置	か所数	25か所	32か所	*34か所	◆IV-1-6「公園へのだれでもトイレの設置」 石神井松の風文化公園	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本施策		2 安全・安心のまちづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
IV-2-2 自転車運転免許制度	「自転車安全運転カード」年間発行数	4,734枚	5,622枚 ※平成17～25年度 までの延べ交付枚数 39,651枚	6,000枚	◆IV-2-2「自転車運転免許制度」 区立小学校65校、5,622人に、自転車の安全な乗り方の講習を行い、「自転車安全運転カード」を発行した。	
IV-2-6 地域パトロール体制の 充実	パトロールの実施 パトロールカーの年間 貸出数 パトロール用品支給団 体数 パトロール協定団体数	24時間巡回パトロー ル 小学校周辺パトロー ル 夜間巡回パトロール	24時間巡回パトロー ル 小学校周辺パトロー ル 夜間巡回パトロール	24時間巡回パトロー ル 小学校周辺パトロー ル 夜間巡回パトロール	◆IV-2-6「地域パトロール体制の充実」 ・安全・安心パトロールカーについて 地域パトロールについては、「安全・安心パト ロールカー」7台体制で実施している。365日 24時間「安全・安心パトロールカー」を運行し ている。特に昼間の時間帯は、全小学校への立ち 寄り、4台で1日1回実施している。また、P T Aなどの地域団体が、地域パトロールを行う際 に、「安全・安心パトロールカー」の貸出を行っ ている。 ・パトロール用品の支給について 地域団体による自主的なパトロール活動の支援 として、区に登録した団体に対し、ジャンパー・ 防犯灯などのパトロール用品の支給などを行っ ている。 ・パトロール協定団体について 郵便局や宅配便、新聞販売店などの業務で区内 をまわる各種団体とパトロール協定を結び、区が 作成したパトロールプレートをつけて巡回しても らっている。	「自転車運転免許制度」は、区が平成19年 度から交通安全対策調査員を配置する等行っ た結果、実施数は増加してきている。今後も より多くの児童への実施に努める。 パトロールカーの貸出数やパトロール団体 の登録数については、引き続き周知等を行い 増加に努める。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本施策		2 安全・安心のまちづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
IV-2-11 児童・生徒の地域における緊急避難所の設置	設置学校数	(ひまわり110番) 56校 (ひまわり110番と こども110番(カン ガルー110番)の併 用)6校 こども110番(カン ガルー110番)6校 (独自の表示板) 1校	(ひまわり110番) 56校 (ひまわり110番と こども110番・カン ガルー110番等の併 用)8校 (独自の表示板) 1校	65校	◆IV-2-11「児童・生徒の地域における緊急避難所の設置」 既存のカンガルー110番表示からひまわり110番表示へ切替えを順次行い、表示板の統一を図った。	連携組織については、小学校を中心とした地域団体の連携の必要性を働きかけ、新たな組織の構築を図るほか、防犯・防火などですでに連携が見られている地域では、既存組織の強化による組織構築を進めていく。
IV-2-15 子ども安全学習講座	講座数	8講座	6講座	15講座	◆IV-2-15「子ども安全学習講座」 区内公共施設等で6回の講座が実施され、113人の参加があった。	
IV-2-16 地域防犯防火連携組織の確立	設置地区数	7地区	13地区	*15地区	◆IV-2-16「地域防犯防火連携組織の確立」 地域住民団体や学校・区立施設などが連携して自主的に防犯・防火活動を行うことが出来る組織の設置について働きかけを行うとともに、当該組織が構築された場合、当該組織の運営費の一部について助成している。平成25年度末現在、13地区において設置されている。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本施策		2 安全・安心のまちづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
IV-2-17 情報教育推進事業	講演会・講座数	情報教育講演会 5回	情報教育講演会 1回 情報教育家庭NIE 1講座 情報教育中学生のた めの番組制作 1講座	情報教育講演会 2回 情報教育家庭NIE 1講座 情報教育中学生のた めの番組制作 1講座	<p>◆IV-2-17「情報教育推進事業」 子どもにとって有害な情報の実際と対策につい て学ぶ講演会を区内全小中学校で実施する事業と 連動させて実施し、80人の参加があった。 平成22年度より、情報を発信する側に立った 中学生のためのニュース番組制作講座を実施し、 延べ190人の参加があった。また、新聞を活用 した講座を2回実施し、延べ68人の参加があっ た。</p>	<p>情報機器や情報通信ネットワークが普及し ていく中で、情報を収集し正しく判断する能 力や、自ら情報を発信していく能力を育成し ていくことを目的に事業を実施した。 今後も、社会的な課題を捉え、参加者の要望 を踏まえ、効果的な事業とするため、見直し をしながら進めていく。</p>

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本目標	V 特に援助が必要な子どもと子育て家庭を応援します					
基本施策	1 児童虐待防止対策の充実					
	【計画事業なし】					
基本施策	2 ひとり親家庭の自立の支援					
	【計画事業なし】					
基本施策	3 障害児の健全な発達の支援					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
V-3-5 特別支援教育に関わる 教員の専門性の向上	研修会開催数	特別支援教育理解の ための研修会 年間4回 特別支援教育コー ディネーター養成研 修会 年間6回	特別支援教育研修会 年間3回 特別支援教育コー ディネーター研修会 年間4回 学校生活支援員研修 会 年間2回	特別支援教育理解の ための研修会 年間4回 特別支援教育コー ディネーター養成研 修会 年間6回 研修を充実させ、特 別支援学級および通 常の学級における特 別支援教育の一層の 充実を図る。	◆V-3-5「特別支援教育に関わる教員の専門性 の向上」 巡回相談員や専門家チームの活用を通して、教 員の特別支援教育の理解が深まった。 平成25年度は特別支援教育コーディネーター の取り組みについて実際的な視点から個別指導計画 の修正と活用を図り、校内組織全体で行っていく ためのあり方について理解を深めた。	事例紹介などコーディネーター同士の情報 交換の場で各校の取り組みがそれぞれの学校で 共有されたことで、通常の学級における特別 支援教育についての理解が深まり、個別の教 育支援計画の必要性や、発達障害等の子ども への支援方法を学ぶことができた。 今後も教員および学校生活支援員の専門性 や質の向上が求められているため、学校教育 支援センターとの連携を図り、研修内容を充 実させていく。
V-3-11 心身障害者(児)に対 する住宅改造・改善の 助成	給付件数	障害児における住宅 設備改善費 50件	障害児(者)におけ る住宅設備改善 31件 ※ただし児童は前年 度と比較して1件増 加	*継続	◆V-3-11「心身障害者(児)に対する住宅改 造・改善の助成」※かっこ内は24年度実績 ・障害児 7件 (6件) ・障害者 24件 (31件)	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成25年度)

基本施策		3 障害児の健全な発達の支援				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成25年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成25年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
V-3-12 心身障害者(児)に対する居宅系サービスの充実	利用時間・日数	障害児における居宅介護・重度訪問介護・行動援護・重度障害者等包括支援 利用時間 548,681時間 短期入所 利用日数9,340日 児童デイサービス 7,160日	障害児における居宅介護・重度訪問介護・行動援護・重度障害者等包括支援・同行援護 利用時間 690,073時間 短期入所 利用日数 19,532日 児童デイサービス (※特記事項参照)	障害児における居宅介護・重度訪問介護・行動援護・重度障害者等包括支援 利用時間 750,000時間 短期入所 15,000日 児童デイサービス 10,000日	◆V-3-12「心身障害者(児)に対する居宅系サービスの充実」 居宅介護・重度訪問介護・行動援護・重度障害者等包括支援・同行援護 12,975人 短期入所 2,211人 ※児童デイサービスは法改正により平成24年度から下記のサービスに変更 放課後等デイサービス 5,369人 48,617日 児童発達支援 4,747人 27,347日	各事業とも目標達成に向けて計画通り進んでいる。
V-3-13 日常生活を容易にするための各種援助	貸付・貸与件数	障害児における日常生活用具給付・貸付件数 8,836件	障害児における日常生活用具給付・貸付件数 10,980件	障害児における日常生活用具給付・貸付件数 13,000件	◆V-3-13「日常生活を容易にするための各種援助」 (障害児において給付の多い種目) ・紙おむつ 592件 3歳以上であり、所定の障害状況にあるものを給付対象としている。	
V-3-18 こども発達支援センターの整備 ※(仮称)を外しました。	開設	基本計画策定	計画事業完了	開設	◆V-3-18「こども発達支援センターの整備」 東京都から児童発達支援センターの指定を受け、円滑な事業運営を行っている。	
基本目標	VI 計画の着実な推進を図ります					
基本施策	1 計画を推進する仕組みづくり					
【計画事業なし】						